

要望書

玄海原発の再稼働に関する要望

2016年11月14日

武雄市長 小松 政 様

原発ゼロ武雄市民の会
代表世話人 猿渡メリー
平野邦夫
大河内智

武雄市民の安全・安心のためにいつもご尽力いただき有難うございます。
私たちは『原発なくそう！九州玄海訴訟』の当市の原告団のメンバーです。

福島原発事故から間もなく6年を迎えようとしていますが今も約9万の人たちが故郷を追われ、避難生活を強いられています。その苦痛いかばかりでしょうか。福島の子供たちの甲状腺がんは175人（疑いも含む・9月発表）に上ります。こんな状況の中で子供たちは希望を持てるでしょうか。

玄海原発で重大事故が起これば放射性物質は佐賀、福岡、長崎県はいうに及ばず気象状況により、九州、日本全国に広がる可能性もあると言われていきます

私たちの命、暮らし、何千年何万年の歳月を重ねた人類の知恵、多くの生き物と共生してきた歴史、その上未来を失うことになりかねません。私たちは安心して暮らしたいのです。

原子力規制委員会は11月9日に玄海原発3・4号機の審査書案（合格証）を出しました。玄海原発は2011年12月25日以来止まったままです。この間原発なしで、35℃を超える暑い暑い夏も国民の知恵とあらゆる分野での努力で乗り越えてきました。2015年世界の再生可能エネルギーは23%を超えています

[I] 要望事項

- 1) 玄海原発の再稼働に対する市民の声を受け止めて反対の声をあげてください。
現在の市民、未来に生きる市民の命と豊かな暮らしのためにそして過去に生き素晴らしい文化や財産を残した人のために。
- 2) ①玄海原発の再稼働に同意権を持つ県知事に同意しないように働きかけてください。
②佐賀県でも「原発に関する第三者委員会」を設置されるとのことですがメンバーの公平性と議論の公開が実現されるように県知事に要請してください。

《 要望の理由 》

- 1) 福島原発事故は収束していません
事故原因は未だに解明されず、原子炉の中の様子を完全に知ることさえ出来ていません。汚染水の海洋への漏出に関しては国費350億円をかけた凍土壁の効果に疑問が投げかけられています
- 2) 日本列島は地震が多発しています
4月の熊本、10月の鳥取大地震始め全国で地震が相次いでいます。原発事故が重なった複合災害だったら発生地のみならず周辺地域、国民はどこへ逃げるのでしょうか？避難に関わる諸問題はほとんど

解決していないのが現状です。

これまでの基準地震動（想定する地震の最大の揺れ）について島崎邦彦さん（元原子力規制委員会委員長代理）は熊本地震を踏まえて過小評価だと警告しています。規制委員会は別の計算式でやり直しましたが結果地震動が大きく出ました。玄海原発の基準地震動の評価をやり直して下さい。

3) 原発は核のゴミを生み出し、半永久的にその毒性から逃れられません

原発は異質の危険性を持つエネルギー源です。玄海原発3号機はMOX燃料（ウランと使用済みウラン燃料から取り出したプルトニウムを混ぜたもの）を使っている危険性の一層高いプルサーマル発電です。使用済みのウラン燃料もMOX燃料も安全な処理方法は確立されていません。1兆円もかけた高速増殖炉「もんじゅ」も廃止の方向で進んでいます。使用済み核燃料の中間貯蔵施設を引き受ける自治体もありません。現在生きている私たちは原発のゴミをこれ以上増やすことを止める重大な責任があります。

4) 重大事故が起きたとき実際には安全に避難することはほぼ不可能です

規制委員会は重大事故が起きることを否定していません。それなのに規制委員会は避難についての対策に責任を持っていません。一方で避難計画・実施は自治体に押し付けられています。避難に関する業務、財政、人的負担などは自治体の能力を超えるものではないでしょうか。

5) 原発は労働者を犠牲にします

ウラン採掘から廃炉までの過程で被曝労働は避けられません。憲法に保障された最低限の暮らしも保障されません。再稼働を急ぐあまり超過勤務の適用除外を九電が申請し、厚生省の通達でそれが可能になっています。関西電力では40代男性の過労自殺まで起きています。

6) 福島の重大事故ではその責任の所在はあいまいにされたままです。

東電も国もいまだに責任は取っていません。一方多くの訴訟が起こされています。故郷を失い、仕事を失い、家族ばらばらにされて訴訟を抱えるのは筆舌に尽くし難い苦勞です。犠牲になるのは住民、国民、あらゆる生き物。将来にわたり何十兆円の国民負担を生じ、何万年も放射性物質に脅かされます。重大事故を起こした時、資本力の小さい九電が責任を取れないことは明白です。

[2] 武雄市の取り組みに関する 質問・要望など

1) 事故が起こりうることを前提とした避難に関して（武雄市はP P A・放射性ヨウ素防護地域）

- ①避難方法・避難訓練などの計画を策定して市民に知らせ、実施して下さい。
- ②伊万里市の避難受け入れ先として、連携はどのように進められていますか。
- ③安定ヨウ素剤を市民に配布して下さい。事故が起きてからでは間に合いません。
- ④九電に住民（市民）説明会の開催を要請してください。

2) モニタリングポスト

- ①市民によく見える場所で作動させて原発への関心を高めて下さい（本庁）。
- ②北方、山内支所にも設置をして下さい。

持続可能な武雄市を！地球環境が健全でないと現代人、未来の人々は生きていけません。

7月に鹿児島で、10月には新潟で再稼働に慎重な知事が誕生しました。佐賀県でも伊万里市長、神崎市長が再稼働反対を明言しています。小松市長におかれましては県内の市町の首長と連携して、地球環境を守るために脱原発の方向で行政の責任を果たしていただきたく上記要望いたします。

質問・要望に対する市長のご回答をお寄せ下さいますようお願いいたします